

海外災害

救助物資の集積基地を

岡山空港 近く想定 知事、国に設置要望へ

長野知事は二十一日の県議会で、海外での災害などに備えた救助物資の集積基地を県内に設置するよう、国に要望することを明らかにした。ロシア・サハリン

の大震災などで対応に緊急性が求められたことから、岡山空港近くを想定しているという。

日南香議員（公明）が、サハリン震災で活躍したアジア医師連絡協議会（AMDA、本部・岡山市）などの活動への支援態勢について

提案したのに対し、長野知事は「救助物資の備蓄機能を併せ持つ国際救助基地のような施設の設置はぜひとも必要。広域高速交通網のクロスポイントである岡山空港周辺が最も適切」と答えた。

地域の天災や飢餓、疾病などに対応するため、食料や医薬品、建築物資の集積基地を作る意向を明らかにしていたほか、AMDAや各種団体で作る「国際貢献トピア岡山構想を推進する会」も、岡山を国際支援の拠点にする運動を展開、行政、民間でそれぞれ、基地誘致の機運が盛り上がっていた。

担当の県保健福祉課は「国として海外支援が必要と考えており、民間の拠点として整備するかなど、具体的ことは白紙状態。中央防災会議や防災問題懇談会（防災臨調）などで検討されることになると思う」としている。

AMDAの菅波茂代表は「岡山を国際貢献の拠点にする構想に近づく、意義ある試み。国際支援には迅速さが必要で、外国の要請を待たないで現地に向かえるNGO（民間活動団体）との連携を見据えた計画にしてもらいたい」と話している。

せじ薬

岡山市田町三丁目十の七（中鉄バス前）

安達漢方薬局

電(222)2796